

研究計画の発表について

- 卒研2において研究計画発表会を実施する。
- 発表時間は、1人10分程度とする。
- 以下の発表資料サンプルをもとに、パワーポイントで発表資料を作成し、発表する。
- サンプルは、必要最低限に収めているため、10分間を持たせるために、例えば「背景、目的」を別スライドにしたり、研究手法に図などを用いて、スライド枚数を増やすことが必要と思われる。
- また、スライドの順番についても、自分の話しやすいように変更して構わない。
- あまり、ちゃんとしていない発表の場合は、やり直しをすることもある。

研究テーマ名

学籍番号

氏名

背景、目的

- 研究は、自分のために行うものではない。
- 例えば、「世の中に〇〇で、困っている人がいる」→「その人たちのために〇〇システムを開発する」のように、世の中のことを背景として示し、そこから目的を述べる。

研究の概要

- プログラムを作るのであれば、
 - そのプログラムが完成すると、社会がどうなるのか、それを利用している場面等を、具体的に、図などを用いて記述する。
- プログラム以外であるならば、
 - 研究の全体像が分かるように、図などを用いて説明する。

研究手法

- プログラムを開発するのであれば、
 - ハードウェア構成（パソコンで動くのか、他のデバイスで動くのか）
 - ソフトウェア構成（言語は何を使うのか、開発環境は何を使うのか）
- プログラム以外であるならば、
 - 具体的に何をするのかを書く。

関連研究

- よいアイディアであれば、既に世の中に似たものがある。
- その似たものを列挙し、自分の研究(システム)とは何が違うのかを明らかとする。

スケジュール

- 卒研の中でどのように研究を進めていくかを計画する。
- 標準のスケジュールは、4年次の10月ごろには開発を終了させて論文書きを開始する。12月初旬に論文の提出、翌年1月初めに発表会となる。
- 基本的には、ゼミの時間には卒業研究の作業は行わない。ゼミの時間は、輪講などを行い、ゼミの時間外で学校や自宅で卒業研究を行う。
- 卒研3, 4の間に、ゼミの時間以外に120時間の作業を行わないと、卒業論文の単位が取得できない。この120時間は、日誌に記録して自分で管理する。

現時点での課題等

- 技術的に現時点で明らかとなっていない部分を記述する。それをどのように解消しようとしているかをできるだけ具体的に書く。